

新春対談



山岡海田町長、海田町社会福祉協議会 山本昭会長、民生委員児童委員協議会 津守豊会長の3名が新春対談を行い、海田町について語り合いました。

昨年を振り返って

町長 新しい年を迎えました。今年もよろしく願っています。

山本会長 よろしく願っています。

津守会長 よろしく願っています。

町長 身近な問題として最初に思い浮かぶのは、8月20日に発生した広島市の土砂災害です。74名の尊い命が奪われた大きな災害でした。

また、御嶽山の噴火や長野県北部地震など自然災害が多く発生した年でした。

海田町では、大きな災害は発生しませんでしたでしたが、いつ何が起きるかわからないということから、11月には海田西小学校区で防災訓練を行いました。

南海トラフ巨大地震の発生に伴い、海田町で震度6弱の地震を観測するとともに、津波警報が発令されたという想定のもと、海田西中学校校舎へ緊急避難を行

うというものでした。津波からの垂直避難訓練、ダンボールによる模擬避難所開設訓練、炊き出し訓練など、意味のある訓練を実施することができたと思っています。

山本会長 昨年2月にボランティア人間塾「わくわく講座」(※)で一般的な地形のもと、大雨災害時にどこに避難し、どのように救出するかということを学びました。その後、8月に広島市で土砂災害が発生し、講師の先生から再度講習をしたいというお話をいただき、急遽9月に再度講習を開催しました。

その際には、海田町に似た地形のもとでの話をしていただきましたが、皆さん関心が高く、自治会長さんほとんど来ておられ、大変効果があったと思っています。今年2月には地震についても学ぶこととしています。

津守会長 広島市で発生した土砂災害については、我が町のことに感じ、海田町民生委員児童委員協議会として義援金を届けさせていただきました。また、11月に行われた町を挙げての防災訓練には、私も参加させていただきました。

防災訓練では、町民の方が避難経路を歩いて来ら



海田町長
山岡寛次

れ、いろいろな資材をトラックから手渡しで運びし、設置するなどの作業をしておられました。

最後に町長さんが講評された時に拍手が起りましたが、それは「こういう訓練をしてよかった。」「こういう体験をさせてもらってよかった。」という拍手だったと思います。広島市で土砂災害が起きた後でもあったため、関心も高く、実践的で大変良い訓練だったと思います。

町長 広島市の土砂災害については、町を挙げて人的支援、物的支援を申し出て、実際に保健師などの職員を派遣しました。消防団も自発的にボランティア活動を行い、力になっていただいたと聞いております。

私も町職員等といっしょに4日間海田市駅で義援金をお願いしましたが、多くの方に協力いただきました。

山本会長 広島県は、日本一土砂災害の起きやすい地形だと言われており、海田町でもいつ災害が起きてもおかしくないわけですが、身近に起きた大きな土砂災害を我が身のことに思い、皆さんがボランティア活動をしたり義援金をされたのではない

かと思っています。

町長 海田町には山も海も川もあり、土砂災害のほか地震、津波、洪水などによる被害が想定されています。何らかの警報が発令された時には、職員が庁舎に集まるわけですが、「情報のキャッチ」「的確な指示」「事故のないように行動する」という3つのことが重要だと考えています。

広島県においても防災、減災の実現に向けて取り組んでおられます。

山本会長 異常気象の影響か雨の降り方が昔とは違ってきています。

町長 安心安全なまちづくりを推進していくためには、どうしたらよいかを考えなければなりません。県の会合などでは、相対的な話をされますが、地域に対応したその町特有の保守、点検、管理などがあり方があるはず。海田町なりの安心安全のための方策を考えていかなければならないと思います。

山本会長 それは、とても大事なことです。地域に

応じた考え方をしていかなければならないと思います。

※ボランティア人間塾「わくわく講座」……地域力の向上やボランティアの育成を図るため、全住民を対象に開催している講座

海田町の目指すべきまちづくり(求められる地域の福祉力)

社会福祉協議会会長
山本昭氏

山本会長 地域福祉の推進のために、皆さんが参加して共に汗を流しながら寄り添える社会を目指してい



民生委員児童委員協議会会長
津守豊氏

ます。

海田町は、住みやすい町だと思いますが、さらに安心安全で住みやすい町にしたいためには、若い人に根をおろしてもらって、地域になじんでもらうことが大切だと思います。特に自治会との接点が多いので、まずは自治会に入って地域とのつながりを持つていただければと思います。

町長 地域の担い手としての人材を確保することは大切なことですが、どの地域でもなかなか困難な状況で、多くの地域が抱えている課題ではないかと思っています。

津守会長 民生委員児童委員は、住民の身近な相談相手として関係機関へのつなぎ役となったり、要支援者の見守りへの協力をしています。そうした中、近年では住民からの相談内容の多様化に伴い、委員個人では対応が困難な事例も増加しています。

また、行政や社会福祉協議会からの依頼による活動の増加や、高齢者サロンの充実などによる民生委員児童委員の自主活動の増加が委員の負担になる場合も出てきている状況があります。やりがいはあると思いますが、負担に感じることもあり、一期3年で退